



自治労HP



ご意見
フォーム



じちろろ

自治労中央機関紙

発行所
全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

地方の実態と自主性を尊重した給与制度を求める署名行動

取り組み期間は4月~6月上旬 全組合員の処遇改善めざそう

対総務省
署名



自治労は、地方の実態と自主性を尊重した給与制度を求める総務大臣への署名行動に取り組む。国の給与制度の地方への押し付けを許さない私たちの声を「1人2筆以上」の署名に込めよう。

組合員1人につき2筆以上を目標に、署名行動に取り組む。多くの署名を結集し、交渉につなげるのが目的。要請項目の解説は、自治労ホームページに掲載しています(左記QRコードを参照)

参議院議員

岸まきこ



声を力に、
一步前へ

自治労は第97回定期大会で、第27回参議院議員選挙の全国比例区に「岸まきこ」参議院議員を自治労組織内候補として擁立することを決定しています。

岸まきこ 検索

人事院は、2024年夏の勧告に向けて「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の成案を示すための検討を進めている。その内容は新規採用者や若手職員の処遇改善が含まれる一方、一部のキャリア官僚を優遇する措置が多く、中堅層以上の組合員の処遇改善にはつながらないものだ。地域手当については、市町村単位で定められている支給区分の大括り化が検討されているが、国の見直し内容をもとに適用するのは難しく、支給割合を地域の判断で独自に設定できるように要求する。

自治労は、対総務省署名行動で「国基準」を押し付けようとする。人事院は、2024年夏の勧告に向けて「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の成案を示すための検討を進めている。その内容は新規採用者や若手職員の処遇改善が含まれる一方、一部のキャリア官僚を優遇する措置が多く、中堅層以上の組合員の処遇改善にはつながらないものだ。地域手当については、市町村単位で定められている支給区分の大括り化が検討されているが、国の見直し内容をもとに適用するのは難しく、支給割合を地域の判断で独自に設定できるように要求する。

署名で示そう組合員の声 「国基準」押し付けにNO

ることなく、人材確保・人材流出防止のための給与上の工夫や、地方公務員に特有の業務に対する手当支給が可能となるよう求める。

要請項目

- ① 「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の具体化にあたっては、国の制度変更に基づいた扱いを自治体に求めないこと。
- ② 給与制度については、地方の実態と自主性を尊重した柔軟な対応を可能とすること。
- ③ 国基準を上回る手当を支給したことによる特別交付税の減額措置を撤廃すること。



カスハラ対策について問題提起しました(4月11日)

勤務・労働条件の改善めざし 参議院・総務委員会で論戦展開

こんにちは。岸まきこです!

私は総務省所管の地方行財政や消防などの課題について議論する総務委員会に所属しています。直近では、常勤職員に準じた会計年度任用職員給与の遡及改定の実施状況と、昨年改正された地方自治法に基づき今夏6月に支給される勤勉手当に係る整備状況について質しました。とくに、勤勉手当の整備状況については、残念ながら昨年12月段階で関係条例の整備予定のない自治体が110以上あること等が明らかにされました。

また別の機会には、公務職場のカスタマーハラスメントについて、日ごろからカスハラの例示を明らかにし、周知するなど各自治体での対策が重要という問題を提起しました。松本総務大臣からは、総務省としても自治体のカスハラ対策を推進する旨の前向きな答弁を引き出しました。

組合員のみさんの勤務・労働条件が改善するよう、引き続き取り組んでまいります。

がんばろう
能登



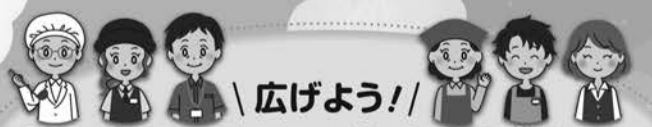
七尾市の災害ボランティアセンターで活動する組合員

自治労支援ボランティア 第9グループからは 能登町避難所支援を拡大

自治労支援ボランティアは、4月27日に七尾市での活動を終了。28日に現地入りする第9グループからは能登町の避難所への支援活動を拡大する。自治労が運営を担当する避難所は2カ所。能登町では、15カ所の避難所に172人の被災者が今なお生活している(4月23日時点・石川県調べ)。

七尾市は、市民生活も落ち着きつつあるように見える。しかし、むしろこれからが正念場。形を変えた支援の継続が必要だ(現状と課題について2面にインタビューを掲載)。

自治労組合員の
みなさんへ



たすけあいありがとう

キャンペーン 2023.10.1~2024.5.31

自主福祉運動は、組合員自らの手で「助け合い」を形にする共助の運動です。助け合いの輪が大きくなるほど、ひとりひとりの安心も大きくなります。自治労は、非営利の生活協同組合である「じちろろ共済」の各種共済を助け合いの共済として推進しています。「じちろろ共済」は、2023年6月に「こくみん共済coop」と統合10周年を迎え、自治労はさらに助け合いの輪を広げるために「広げようたすけあい ありがとうキャンペーン」を実施します。

組合活動に参加してキャンペーンに応募しよう!

キャンペーン期間中に、組合で開催する自主福祉運動や共済制度に関する学習会等へ参加していただいた組合員を対象に「抽選」で賞品を進呈します。また、抽選キャンペーンへの応募1件につき、100円を子ども食堂に寄付します。詳しくは組合までお問い合わせください。

抽選で賞品が
当たる!

世界的大人気/
Hydro Flaskのボトル

あなたの参加が
子ども食堂への
寄付に!



自治労本部 共済推進委員会

震災をのりこえて職員が前を向くために

これからの最大の課題は 職場のメンタルヘルスと ハラスメントへの対策



七尾市職労 藤田陽子 執行委員長 副委員長等を経て、2023年11月に委員長に就任 (取材日：4月23日)

減ってくる中で、七尾の職員の疲労度は、3月よりも4月に入り強まったようです。職員の時、間外勤務、休日・深夜勤務は深刻です。最低... 4月15日に震災対応業務に関する要求書と春闘要求書を提出しました。休みの確保と時間外手当、被服費の支給を重点にしました。被災した東北・熊本の仲間の経験に学びたい。大災害は初めての経験で、自治労には、災害の中でどうしたら組合の活動を組合員に伝えられるのか、東北や熊本の仲間の経験を聞く場を作ってもらえたらいいです。

自治労支援ボランティアが展開する石川県七尾市を訪れた。能登半島地震の発生から4カ月。職員の『心身の疲れ』が一番の気がかりだと、市職労の藤田陽子委員長は話す。仕事は福祉課の生活保護の担当です。4月に障害者福祉グループから異動になりました。引き継ぎもままならず、本当に大変です。七尾市は4月1日に市内の断水を解消しました。しかし家の配管が壊れていて水道が使えない市民も少なくなく、問題が解決したとは言えません。行政の支援で全国から来ていた職員も減ってくる中で、七尾の職員の疲労度は、3月よりも4月に入り強まったようです。被災した東北・熊本の仲間の経験に学びたい。大災害は初めての経験で、自治労には、災害の中でどうしたら組合の活動を組合員に伝えられるのか、東北や熊本の仲間の経験を聞く場を作ってもらえたらいいです。



「図書館に育ててもらった感覚がある」と語る佐原さん

自治労は4月13日に、自治労文芸コンクール関連企画として、作家・佐原ひかりさんのオンライン講演会を開催した。

非正規の図書館司書として働きながら、作家デビューに至った経緯や「居場所としての役割」を果たす図書館の魅力についてお話いただいた。講演のアーカイブ映像は、右QRコードからYouTubeで視聴することができる。

佐原ひかりさん講演会 兼 兼業作家としての思い語る



アーカイブ動画

辺野古新基地建設やめよ 最高裁の上告棄却に抗議



『代執行』は地方自治をふみにじるもの」と話す伊波洋一参院議員(自治労組織内)

4月2日、沖縄・辺野古新基地建設に反対する院内集会在、衆議院議員会館内で開かれた。この集会は、沖縄県が辺野古新基地建設をめぐる国の「代執行」を不服とした裁判で、最高裁が県の上告を審理抜きで却下したことに抗議するもの。

なお、上告を認めるよう求める団体署名は、合計2,592団体(うち自治労1,342団体)。



カウントダウンセミナーを開催中

4月22日、しまね自治研にむけたカウントダウンセミナーがウェブで開催され、56人が参加した。この間、自治研推進委員会は約2カ月に1度、10月に開催予定のしまね自治研への熱を高めていくため、連続セミナーを開催している。今回は「コミュニティ・オーガニ...

自治研 10月は『結び、つなげる』しまね自治研

「結び、つなげる」しまね自治研 10月は『神々が集う国』へ

じちろ mobile 自治労ホームページ 組合員限定ページ ※限定動画も公開中 パスワード: jichi2024

島根県大由市の若見銀山は、2007年に世界遺産に登録された。銀山で栄えた大森地区には江戸時代の古い街並みが残る。集会参加を機に、訪ねてほしい

「しまね自治研」への カウントダウン 第3回セミナー 6月25日 「しまね自治研プレトーク① 一分科会の見どころ紹介」 第4回セミナー 8月末定 「しまね自治研プレトーク② しまね自治研の歩き方」

自治労情報宣伝セミナー を開催します 経験者対象 対面方式 スキルアップをめざす実技中心の講座です 日程 2024年6月21日(金)11:00~22日(土)13:00 場所 自治労本部 内容 全体集会 新聞づくり分科会 講師:水谷 一生(有限会社エディット) ビラづくり分科会 講師:ヨッシー・イリエ(自治労愛知県本部)

作品 募集中! 自治労 あなたの思いをカタチに 自治労コンクール 第30回 自治労文芸賞 散文・詩歌等 第31回 写真コンクール 2024 まんが大笑 テーマ『車』 応募資格/自治労の組合員・家族・退職者 応募先/郵送および電子メールにて受け付けます。 〒102-8464 東京都千代田区六番町1 自治労総合企画総務局: 報道担当「000」コンクール係まで 2024oubo@jichiro.gr.jp 発表/機関紙「じちろ」紙上で順次発表の予定。「文芸」「写真」「まんが」の各受賞作品は自治労文芸第31号で紹介いたします。 応募上の注意/必ず「応募票」を作品に添付してください。

2024年 8/31(土) 締切 当日消印有効